

2023年 実践教育研究発表会 電気・電子・情報系企画 I：シンポジウム

日時:2023年8月18日(金) 11:00~12:00

■ テーマ

『生成系 AI(Generative AI)ツールの活用に向けて』

■ 主旨

202X年頃からの ChatGPT を中心とした生成系 AI の流行は目覚ましく、今ではマスコミでも一般的な話題として扱われるほどの広がりを見せています。クラウド系のベンダーも生成系 AI を内包したサービスを展開し始めるほか、ブログなどへの活用で著名な多機能ドキュメントツールでは文章生成 AI 機能がリリースされ反響を呼んでいます。また、とある求人広告では AI 画像ジェネレータで生成された画像が利用されるなど、急速に世の中へ広がっています。

生成系 AI とは、バディのように適切な関係を築くことができれば、強力な武器となりえることがそこかしらで示唆されている一方、プロンプトに与える情報に機密情報や個人情報が含まれていた際に情報漏洩に繋がる可能性、生成された文章や画像に関する著作権の問題なども危惧されています。

そこで今回は、生成系 AI を研究・開発や教育の現場への前向きな活用について討議します。変革期、真ただ中のものづくり・ひとづくりに取り組む学会員の 今後の活動の一助となればと思います。

1 はじめに (司会:四国職業能力開発大学校 及川 達裕)

2 生成系 AI の概況 (発表:専修大学 太田 隆博)

3 グループによるディスカッション

GrA:研究・開発における活用を考える

GrB:教育における活用を考える

4 まとめ

**GPT-n**

